

生誕140周年

# 藤田嗣治展

～国宝迎賓館で出会う、フランスのやわらかな風景～



藤田嗣治＜母と娘＞1935年 油彩/キャンバス 迎賓館蔵  
© Fondation Fougita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 C5543



2026年8月13日 木曜日 ～ 9月15日 火曜日

※ 毎週水曜日は休館です。

## 開館時間

10:00-17:00（受付時間：本館16:00まで、庭園16:30まで）

## アクセス

- ・ JR 中央線・総武線「四ツ谷」駅下車、赤坂口より徒歩約7分
- ・ 東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷」駅下車、1番出口より徒歩約7分
- ・ 東京メトロ南北線「四ツ谷」駅下車、2番出口より徒歩約7分

## 参観料金

本館・庭園：一般/2,000円 大学生/1,500円 中高生/700円 小学生以下/無料

詳しくはこちら



迎賓館赤坂離宮

お問い合わせ TEL.03-3479-1430（テレフォンサービス）  
〒107-0051 東京都港区元赤坂 2-1-1

# 迎賓館赤坂離宮

1909年(明治42年)に東宮御所として建てられた迎賓館赤坂離宮は、わが国唯一のネオ・バロック様式の宮殿建築です。

美しい装飾と格式高い空間は、これまでに世界各国の賓客をお迎えしてきました。

本展では、その迎賓館という特別な舞台で、藤田嗣治が描いた絵画6点をご覧ください。



藤田嗣治<母と娘>1935年 油彩/キャンバス 迎賓館蔵  
© Fondation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 C5543

## 藤田嗣治 (1886-1968)

1886年東京都生まれ。

1913年に渡仏し、パリを中心に活躍した藤田嗣治。

1959年にはカトリックの洗礼を受け、「レオナルド・フジタ」となりました。

本展で展示する6点は、1935年(昭和10年)、銀座コロンバン2階サロンの天井装飾として制作された油彩画6点です。

戦時中に疎開・保管された後、1974年(昭和49年)に迎賓館に寄贈されました。

## 記念トークイベント開催 **事前申込制(抽選)**

本展の開催を記念し、講師に兵庫県立美術館館長の林洋子氏をお招きし、トークイベントを開催いたします。

藤田嗣治の作品の背景や魅力に触れる貴重な機会となります。

### 2026.9.1

[第一部] 10:30～ [第二部] 13:30～

(講演時間は30～40分程度となります。)

場 所： 迎賓館赤坂離宮 第一事務棟3階 カフェテリア

講 師： 兵庫県立美術館館長 林洋子氏

定 員： 55名

迎賓館ホームページより「一般公開申込システム」  
にアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。



林 洋子 兵庫県立美術館館長

京都生まれ。美術史研究者、キュレーター。東京大学文学部卒業、同大学院修士課程終了。パリ第一大学にて博士号取得。京都造形芸術大学(現:京都芸術大学)准教授、文化庁芸術文化調査官などを経て、2023年4月より現職。

主な著作に、『藤田嗣治 作品をひらく旅・手仕事・日本』(名古屋大学出版会、サントリー学芸賞、渡沢クロード賞、ルイ・ヴィトンジャパン特別賞、日本比較文学会賞を受賞)『藤田嗣治 手しごとの家』『藤田嗣治 本のしごと』『藤田嗣治 手紙の森へ』(以上、集英社新書)ほか。

### ご来館にあたっての注意事項

■ 運営上の都合により、予定していた参観を急遽中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お出かけ前に必ず公開状況を当館ホームページよりご確認ください。

■ 手荷物検査などで入場までに時間がかかる場合がございますので、時間に余裕をもってお越しください。

### 公式 SNS

最新情報は公式サイト及び  
SNSにてお知らせします。

